

安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震

・明治の芸予地震（1905年6月2日 M7.2）

1905年6月2日に発生した明治の芸予地震は、瀬戸内海西部の安芸灘を震源として発生し、地震の揺れは図1のように広島県・愛媛県で震度階級5～6相当であったと推定されています。広島県内では広島市・呉市で震度5～6相当の揺れであったと推定されています。

この地震により、広島県内では死者11人、負傷者160人、家屋全壊56棟などの被害が生じました。

（出典：引用元：地震調査研究推進本部（広島県の地震活動の特徴）、日本被害地震総覧 599-2012宇佐美ほか、2013）。

この地震の発生後半年以内に周辺でM6程度の地震が3回発生しました（図2・図3）。

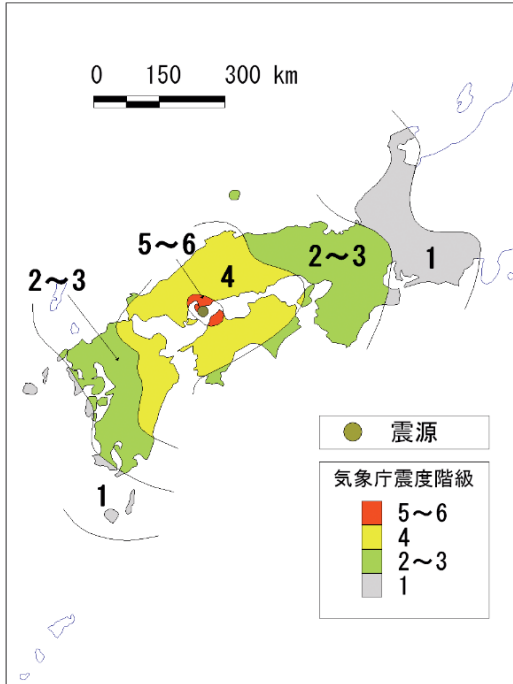


図1 明治の芸予地震の震度分布図

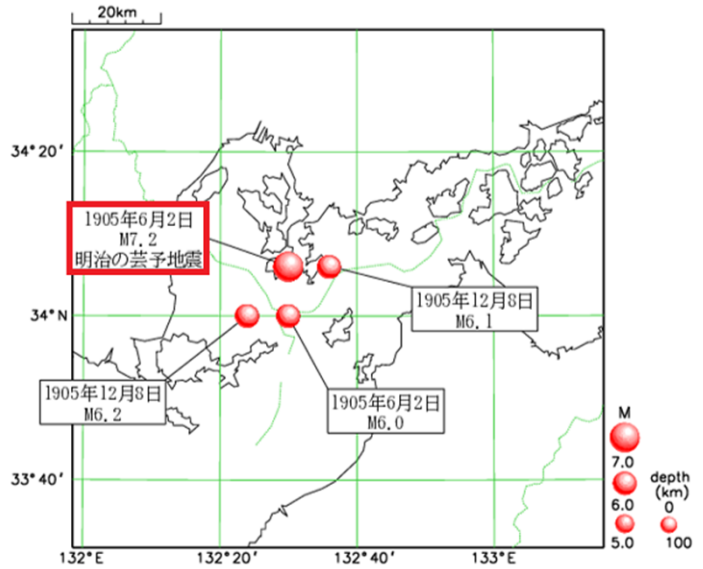


図2 震央分布図

（1905年1月1日～1906年12月31日、M≥5.0、深さ≤100km）

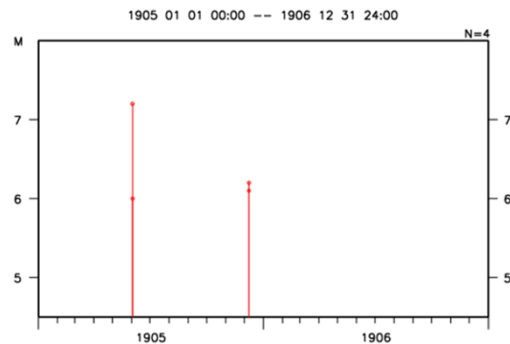


図3 図2の地震活動経過図

縦軸はマグニチュード 横軸は期間を示す

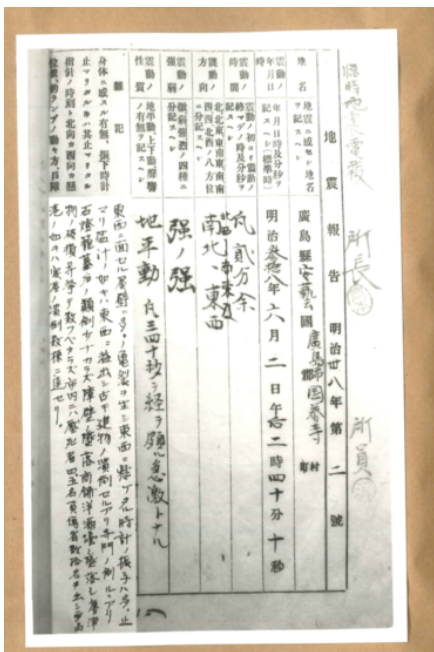


図4 地震報告（明治三十八年 広島測候所）

当時の地震報告によると、震動ノ強弱は「強ノ強」、また雑記には「東西二面セル屋壁ニ多々ノ亀裂ヲ生シ・・・」と記されている。



当時の被害写真
江田島市（海軍兵学校）